

第 75 回定期総会

新妻秀規 参議院総務委員長メッセージ

全国町村議会議長会定期総会の開催に当たり、参議院総務委員会を代表して、一言御挨拶を申し上げます。

はじめに、本年元日に発生した、令和 6 年能登半島地震において犠牲となられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災され現在もなお不自由な生活を余儀なくされている全ての方々にお見舞いを申し上げます。また、被災者の方々への支援、被災地の復旧・復興のために御尽力されている地方公共団体の全ての方々に心より敬意と感謝を申し上げます。

本日、御列席の皆様には、地域社会の活性化と住民福祉の向上のため、日頃より献身的な御尽力を賜り、深く敬意を表しますとともに、衷心より感謝を申し上げます。あわせて、表彰の荣誉に浴された皆様に対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、昨年の通常国会においては、地方議会の役割や議員の職務等を法律上明確化するほか、請願書の提出等のオンライン化を可能とすることなどを内容とする地方自治法の改正が行われたところです。皆様方においては、これらの改正の趣旨も踏まえ、引き続き住民の負託に添えていただくとともに、住民との信頼関係の醸成や地域の諸課題について充実した審議を行い、議会の存在感を更に高められますよう、よろしく願い申し上げます。

一方、地方が抱える課題は、人口減少への対応、防災・減災、脱炭素化、デジタル化の推進に加え、こども・子育て政策の強化など山積しております。令和六年度の地方財政対策においては、こうした政策課題への対応を行った上で、交付団体の一般財源総額について前年度を上回る 62.7 兆円が確保されるとともに、臨時財政対策債の発行は過去最低となる 0.5 兆円まで抑制されました。

加えて、今通常国会においては、第 33 次地方制度調査会の答申等を踏まえ、国民の安全に重大な影響を及ぼす事態における国と地方公共団体との関係の特例等を設けることなどを内容とする地方自治法改正案も提出される予定となっています。

私ども参議院総務委員会といたしましても、これらの国会審議に当たりましては、皆様方の声を受け止めながら真摯な議論を行い、その委員会の審議等を

通じ、地域社会が活力を持ち、維持・発展できるよう、引き続き努力してまい
る所存です。

結びに、全国町村議会議長会の一層の御発展とともに、御列席の皆様の御健
勝と御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和6年2月8日

参議院総務委員長 新妻 秀規